

シラバス詳細

保健医療福祉科目														
授業科目名														
カリキュラム2012														
IPW実習 Interprofessional Work Practicum														
No.	時間割番号				開講時期				曜日・時限					
1	100300901				後期				集中					
配当年次 および 必須 (●)・選択 (○) の別														
No.	看護	理学	作業	社福	社福	福子	行動	検査	口腔	教職				
	編入			編入	専攻	編入	専攻	専攻	専攻					
1	4●	3○	4○	4○	4○	3○	4○	3○	4○	4○	4○	4○	4○	
履修における注意点・履修条件等														
履修条件なし														
科目責任者	松下 誠				単位数・時間数	1単位 45時間				授業形態	実習			
科目担当者	望月浩江、櫻井育穂、宮部明美、柴山志穂美、森田牧子、滑川道人、久保田章仁、菊本東陽、松尾彰久、若林子ヒロ、新井利民、相良翔、久保田亮、秋山恭子、井原寛子、川俣実													
授業の概要														
<p>本実習は、8月に行われるIPW実習①、10月に行われるIPW実習②に分けて実施される。</p> <p>各学科と一部他大学学生で構成する5～6名の混合チームが、2回のオリエンテーションなどの事前学習後、保健医療福祉施設で4日間の実習を行い、その最終日に複数のチームで集まり、実習の結果を報告し学びを共有する。</p> <p>なお、本科目の説明内容が多いこと、実習の事務手続きの関係で、4月のガイダンス期間に、最初の説明を行う。</p>														
学習のねらい														
<p>本科目の目的は、利用者中心の統合されたケアを創造するために、専門職連携実践の方法を身につけることである。利用者にとっての意味ある支援は、それを創出する履修者のチーム形成と相互理解のプロセスによるところが大きい。しかし、毎年実習最終日の報告会の発表に対して、「よくまとまり過ぎている」「表面的な報告内容だった」などの評価が目立つ。本実習を良い体験とするために、皆さんのグループが1つのチームとなるプロセスと検討課題の学びとを関連付けて発表されることを大いに期待する。結果的に、支援計画などの検討課題がきれいにまとめられなくともよい。</p>														
授業の到達目標及び授業概要														
回	授業の到達目標				授業概要				担当教員			講演者		
1回	IPW実習の目的・目標を理解する。 チームメンバーの相互理解、実習地域・実習施設に関する理解、IPW実習における自己貢献の可能性推測、チーム形成のための課題などの事前学習の計画及び実施をする。				<p>オリエンテーションⅠ (IPW実習①・②)</p> <p>8月6日月曜日 午後 時間・場所 詳細はメール等で連絡</p> <p>チーム構成：5～6名、各学科+一部他大学混合 他大学 (埼玉医科大学、城西大学、日本工業大学)</p> <p>(内容)</p> <p>1. 地域ごとのオリエンテーション</p> <p>1) IPW実習の実際</p> <p>2) 地域の理解 (教員からの情報提供)</p> <p>3) IPW実習報告会について 発表方法、運営について</p> <p>2. 施設ごとのオリエンテーション</p> <p>1) 教員・学生の自己紹介</p> <p>2) 緊急連絡網の作成</p> <p>3) チーム活動 (シート1：チームのルール作り、今後の打ち合わせ、他)</p> <p>3. オリエンテーションⅡまでの課題</p> <p>1) 事前学習課題の実施</p> <p>2) 施設見学など</p>				松下、望月、櫻井、宮部、柴山、森田、滑川、久保田、菊本、松尾、若林、新井、相良、久保田、秋山、井原、川俣					
2回	チーム形成に参加する。 IPW実習の4日間の行動計画の作成などの準備を終える。				<p>オリエンテーションⅡ</p> <p>IPW実習① 8月17日金曜日 午後 時間・場所はメール等で連絡</p> <p>IPW実習② 9月27日木曜日 午後 時間・場所はメール等で連絡</p>				松下、望月、櫻井、宮部、柴山、森田、滑川、久保田、菊本、松尾、若林、新井、相良、久保田、秋山、井原、川俣					

		絡 (内容) 1. 地域ごとのオリエンテーション 1) IPW実習の目的・目標の再確認 2) 学生としての態度・マナーについて 3) 個人情報の取り扱いについて 4) 報告会 5) 提出物と成績評価 6) 貸し出し物品の返却 7) お礼状について 2. 施設ごとのオリエンテーション 1) 緊急連絡網の確認 2) 利用者・集団・地域の理解 3) 行動計画立案 4) 自分の目標設定		
3～6回	最終的に①～④の態度や技術を身につけてほしい。 ①利用者・集団・地域の理解と課題解決の実践方法を身につける ②多領域の相互理解のプロセスを体験するチームメンバーの専門性と多様性を相互理解する態度を身につける ③チーム形成のプロセスを体験するチーム形成と協働の実践方法を身につける ④この体験を振り返り、意味づけ、自分の課題を見出す体験を振り返り、意味づけ、自分の課題を見出すためのリフレクションができる	IPW実習① 8月20日(月)～23日(木) IPW実習② 10月2日(火)～5日(金) (内容) 1日目 施設ファシリテータ紹介、施設の見学、地域探索など 行動計画に基づいて情報収集等 ディスカッション、リフレクション 2日目及び3日目 行動計画の修正 インタビュー・見学・カンファレンスへの参加 ディスカッション、リフレクション 4日目 まとめ、報告の準備 報告会への参加と発表	松下、望月、櫻井、宮部、柴山、森田、滑川、久保田、菊本、松尾、若林、新井、相良、久保田、秋山、井原、川俣	

教科書

特になし

参考書、教材等

IPWを学ぶ－利用者中心の保健医療福祉連携－(中央法規)

評価方法

事前オリエンテーションⅠ・Ⅱおよび4日間の現地での実習と報告会の全ての参加を期待する。
 成績評価は、チームへの参加状況と最終レポートにより行う。

授業外における学習方法

web classを使って、チームメンバー、施設ファシリテータ、教員ファシリテータと自己紹介、実習に必要な情報を交換をしましょう。また、個人的に、インターネットや書籍などによって、実習施設のある地域の特徴、チームメンバーや施設職員等の仕事などについて、理解を深めましょう。

学習上の助言や授業改善に関する教員からのコメント

この科目は彩の国連携科目となっています。県立大学の5学科の学生混合チームを基本としますが、一部の学生チームに埼玉医科大学(医学科)、城西大学(薬学・薬科学・医療栄養学)、日本工業大学(工学部 生活環境デザイン学科)の学生が参加します。保健医療福祉科目(ヒューマンケア論、ヒューマンケア体験実習、IPW論、IPW演習)や専門科目などの中で培ってきた各自の力を出し合い、互いに研鑽して学習しましょう。

授業における講演者(ゲストスピーカー)の情報

回	講演者氏名	講演の概要	備考

最終更新日: 2019/01/07 14:16

印刷 閉じる